

飯塚家と金賢姫(김·ヒョン)氏との面会(概要)

平成21年3月12日
拉致問題対策本部事務局
総合調整室

1. 日時

平成21年3月11日(水) 11:00~12:30

2. 場所

大韓民国釜山市内国際会議場(「BEXCO」)

3. 面会者

飯塚繁雄氏(拉致被害者・田口八重子さん兄)

飯塚耕一郎氏(拉致被害者・田口八重子さん長男)

金賢姫(김·ヒョン)氏

4. 趣旨

かねてから飯塚家より面会についての強い御要望が寄せられていたことに加え、政府としても、田口八重子さんについての重要な証言者である金氏から直接お話を伺うことは拉致問題の真相究明及び同問題の解決に向けた日韓の連携強化に資すると判断したことから、今回、日本政府が韓国政府の協力を得て主催したものの。

5. 面談概要

- (1) 面談は終始和やかな雰囲気の下、すべて日本語で行われた。ようやく面会が実現したことに関し、金氏からは、「もう少し早く会いたかったが、様々な事情から会えなかった。申し訳なく思う」との発言があった。
- (2) 面談の大部分は北朝鮮での田口さんの様子についての話であり、金氏は、時折笑顔も見せながら、真摯かつ感慨深げに田口さんとの様々な思い出を紹介した。また、面談中、金氏より耕一郎氏に対し何度も「お母さんは生きているから希望をもってほしい」、「私を韓国のお

母さんと思ってほしい」との励ましの言葉があった。

(3) 飯塚家からは、田口さんの写真を見せつつ、金氏に対し田口さんについて証言していただいたことへの感謝の気持ち等が伝えられた。また、飯塚家より金氏に対し、田口さん以外の安否不明被害者についての資料を伝達しつつ情報提供を求めた。

(4) 最後に、金氏より、拉致問題解決に向け積極的に協力していきたいとの意向が示され、田口さんも交えた4人での再会を約して面談を終了した。

(なお、面談に先立ち行われたフォトセッションにおいて、金氏は感極まって涙ぐみながら耕一郎氏と抱擁。また、プレゼントも交換。面談後は3人による共同記者会見が約30分間行われた。)

6. 評価

(1) 金賢姫氏より八重子さんの話を直接聞くとともに、証言していただいたことへのお礼を伝えたいという飯塚家の長年の思いが実現したことは大変喜ばしいことであった。

(2) また、今回の面会が拉致問題の解決に直接つながるということではないが、①田口さんについての重要な証言者である金氏より直接お話を聞く機会を得たという点、②今回の面会は日本政府が韓国政府の協力を得つつ主催したものであるという点から、拉致問題の真相究明及び同問題の解決に向けた日韓の連携強化という面において一定の意義があった。

(3) 政府としては、今回の面会実現を受け、「拉致問題は日韓共通の問題である」という点を改めて想起すると同時に、面談において金氏より拉致問題解決に向けての協力の意向が示されたという点に留意しつつ、同問題の解決に向けた日韓の連携を一層強化していきたいと考えている。特に、今回、金氏より得られた重要な参考情報については、今後、韓国政府の協力も仰ぎつつ確認作業を進めていく考えである。

(4) いずれにせよ、政府としては、上記のような取り組みを鋭意進めつつ、北朝鮮側に対し、昨年の日朝実務者協議において約束した全面的な調査を早急に開始するよう、引き続き強く求めていく考えである。

(了)